

浅海定線調査結果（平成30年2月1日）

福岡県水産海洋技術センター 豊前海研究所

1. 観測結果

		平成30年2月	平年値との差 (平年値)	昨年2月との差 (昨年2月観測値)
水温 (°C)	表層	7.6	- 0.4 (8.0)	- 1.7 (9.3)
	底層	7.7	- 0.3 (8.0)	- 1.6 (9.3)
塩分 (PSU)	表層	33.45	+ 0.34 (33.11)	+ 1.03 (32.42)
	底層	33.61	+ 0.44 (33.17)	+ 1.04 (32.57)
透明度 (m)		5.6	+ 0.9 (4.7)	+ 0.2 (5.4)

※ 観測値 : 周防灘 12 定点の平均値を表しています。
※ 平年値 : 過去 30 年分の同月平均値を表しています。

2. 概況

(1) 水温

・表層、底層ともに平年並でした。

(2) 塩分

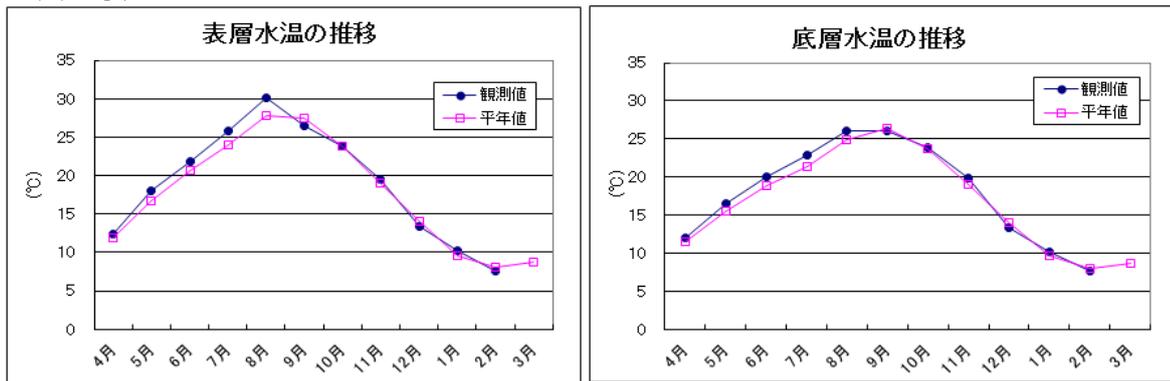
・表層、底層ともにやや高めでした。

(3) 透明度

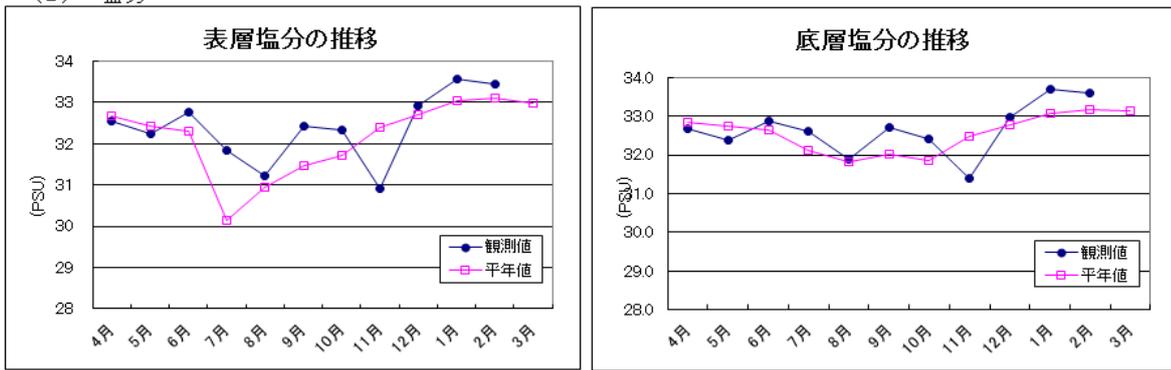
・透明度はやや高めでした。

調査結果（グラフ）

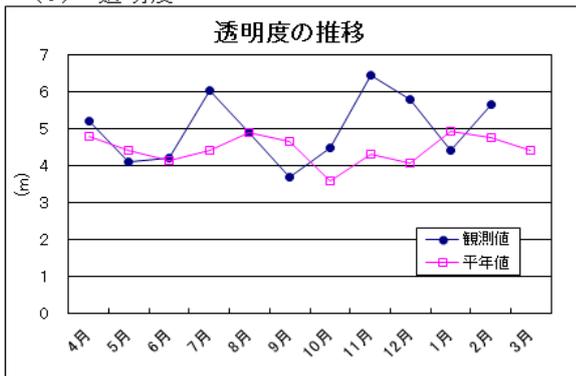
(1) 水温



(2) 塩分



(3) 透明度



3. その他

南部の沿岸域で小型ケイ藻プランクトンの*Pseudo-nitzschia* (シュドニツア) 属が増えています。

またプランクトンネットによる採集では、沖合域を中心に大型ケイ藻プランクトンの*Coscinodiscus* (コシノディスク) 属が優先して見られますが、生海水で計数できるほど多くはありません。

どちらも、海水の変色は認められません。